



脱力系殺し屋コンビ、ちさととまひろの日常を、ゆるゆるトークとソリッドなアクションの合せ技で熱狂的なファンを生みだした「ベビわる」の舞台裏が、ついにドキュメンタリー映画として劇場公開される。宮崎県でロケを取行したシリーズ最新作『ベイビーわるきゅーれ ナイスデイズ』(9月27日公開)の制作現場に完全密着。アクション監督、園村健介による怒涛のアクションがいかにして生まれるのか、をつまびらかに映し出し、"スタント"という人間と人間のぶつかり合いを、アスリートの闘いを観察するかのように克明に記録している。史上最強の敵、冬村かえでを怪演した池松壮亮と、ちさととまひろの死闘シーンの撮影の模様では、演技とスタントが渾然一体となり、技と技とがせめぎあう緊張感に息を呑む。

我々がアクションを観て興奮するのは一瞬のできごとだが、それは氷山の一角に過ぎない。"映画"といううたかたの夢のために注ぎ込まれたエネルギーの総量に、誰もが圧倒さるはず。世界最高レベルのアクションの現場を特等席で眺める興奮。そしてここでしか得られないカタルシスと感動を与えてくれるメイキングドキュメンタリーが完成した。

